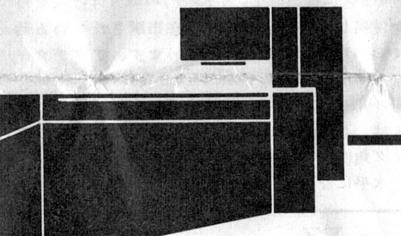


# Decca London Cartridge Mark-V Series



## カートリッジ接続について

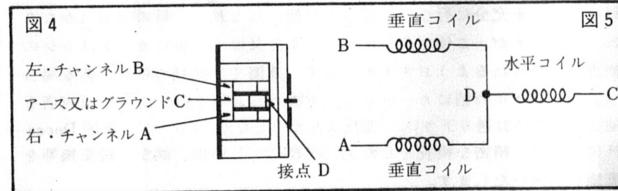
ロンドン・カートリッジ Mark-V は、図5に示めされるように数種のコイルが互いに密接な関係を持って居ります。カートリッジを出力ピン接点側から見た場合、アース接点の真下にもう一つの小さな接点があります。この接点は図4の中のDで示めされ、カートリッジ製造工程に於いてテスト・ポイントとして利用される接点です。どんな場合でも、このテスト・ポイントには絶対に接続を行なわないで下さい。

図4はカートリッジ内部の回路及び3本のスプリング状接点を示めしています。モノ接続の場合は、左右の出力をパラレルにつないで下さい。(通常はステレオ・アンプのスイッチを"MONO"又は"L + R"に切換えて行ないます。)

通常トーン・アームやヘッド・シェルをお買い上げになると、それぞれ色々な色の異なる4本のリード線が付いて来ます。国際的な規準として、リード線の色分けは次のようになっています。

- 白：左チャンネル（ホット）
- 赤：右チャンネル（ホット）
- 青：左チャンネル（アース）
- 緑：右チャンネル（アース）

ロンドン・カートリッジ Mark-V の場合は、出力ピンが全部で3本です。図4に従って左チャンネルは"B"に、右チャンネルは"A"の各接点に、左右両チャンネルのアースはひとつにまとめて接点"C"に接続して下さい。この結線で、万一ハムを生じるケースが起きましたら、左右どちらかのアース線を外して下さい。殆どの場合、この方法でハムを防止することが出来ます。



## DECCA LONDON CARTRIDGE 仕様

Mark-V(EE)	Mark-V(E)	Mark-V(M)
出力 (5cm/sec.)	7.5mV	5mV
周波数範囲	20~20,000Hz	20~20,000Hz
針先(ダイアモンド)	0.3×0.6ミル、橋円針	0.6~0.7ミル、円錐針
トラッキング・アンクル	15°	15°
水平コントラインス	$15 \times 10^{-6}$ cm/dyne	$12 \times 10^{-6}$ cm/dyne
垂直コントラインス	$7.5 \times 10^{-6}$ cm/dyne	$5 \times 10^{-6}$ cm/dyne
チャンネル・バランス	1dB以内	1dB以内
インダクタンス	560mH	130mH
直流通抵抗	2,200Ω	4,400Ω
適正負荷	50KΩ	50KΩ
針先質量	1mg以下	1mg以下
針圧	1~2g	2~3g
適正針圧	1.5g	3g
ボディ・カラー	ゴールド	グレイ
	小豆色	

Decca Special Products  
Ingate Place  
Queenstown Road  
London SW8 England

JAN.'791,000



日本総代理店

パルコトレーディングカンパニーインコーポレイテッド  
オーディオ部 〒108 東京都港区高輪2-15-17  
TEL (443)3231(代)

## カートリッジのお取り扱いについて

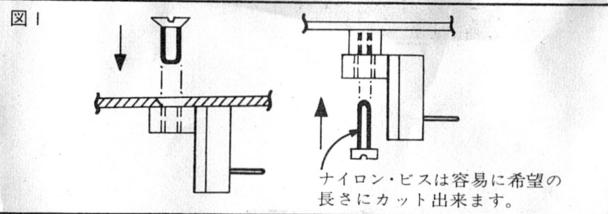
お買い上げいただきましたロンドン・カートリッジ Mark-V は、レコード及びピックアップ製造分野で、常に絶え間ない研究を続け、業界のリーダー的立場にある Decca 社によって開発されたものです。

このカートリッジは取り付けや使用法に注意し、正しくお取り扱いいただければ、長年に亘って素晴らしい性能を発揮します。もとより、このカートリッジはかなり頑丈な構造で出来上りですが、精密製品でありますので、そのお取り扱いには充分な注意が肝要です。

\*いかなる場合でも、決してカートリッジ・ボディ上面を開けたり、内部に手を加えたりしないで下さい。保証の対象にならなくなります。

## カートリッジの取り付けについて

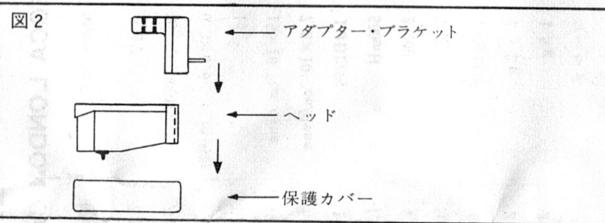
このカートリッジには、標準(1/2インチ)の取り付け穴を持つアダプター・プラケットが付属していますので、現在市販されている殆どのヘッド・シェルに取り付けられるようになっています。アダプター・プラケットの取り付け穴は、6BAサイズのねじが切ってあります。ヘッド・シェルに取り付けの際は付属の取り付ビスの中から適当なものを選んでご使用下さい。ナイロン・ビスは、お望みの長さに合わせて、カットしてご利用になります。トラッキング角度15°を得られるように、カートリッジ上部がレコード盤面に対し、水平になるように取り付けて下さい。



## リード線のハンダ付けについて

リード線のハンダ付けは必ずヘッド・シェル付属のターミナルに行ない、決してカートリッジの出力ピンにじかに付けないで下さい。又ターミナル

ルを出力ピンにさしたままで、リード線とターミナルをハンダ付けすることも絶体に避けて下さい。リード線の出力ピンへの直付及びターミナルを出力ピンにさした状態で、リード線をハンダ付けするとハンダ錫の熱によってプラスティックが熔け、アダプター・プラケットが変形し、使用出来なくなります。“図2”はどのようにして、カートリッジ・ヘッドをアダプター・プラケットに取り付けられるかを示します。ご覧のようにヘッドはアダプター・プラケットにスライドさせてはめたり、取り外したりします。



## 針圧について

ロンドン・カートリッジの適正針圧は、Mark-V(EE)が1.5g、Mark-V(E)が3g、Mark-V(M)が2gです。然し、針圧設定はトーン・アームの精度によってある程度の影響を受けます。3gまたは1.5g以下の針圧で作動させることも可能ですが、その必要はありませんし、おすすめすることも出来ません。

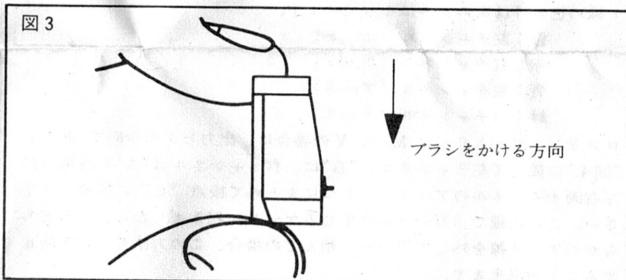
## アンチ・スケーティングについて

レコードを演奏するとインサイド・フォースの働きによって、カートリッジが自然にレコードの中心に向って引張られる傾向があります。然しこの働きは、針がレコード音溝の内壁に接することによって抑制されています。この作用は針の偏磨耗を促し、しばしば左右チャンネルのセパレーションに悪い影響を及ぼします。スケーティング補償装置を使うことによって、針の偏磨耗を防止し、ステレオ効果を高めることも出来ます。ロンドン・カートリッジ Mark-V の性能を最高に発揮していただ

けには、何らかの形のスケーティング補償装置(アンチ・スケーティング機構)をご利用になることをおすすめします。

## 針の手入れ

このカートリッジに使用されているダイヤ針は、モノ、ステレオを問わず全てのレコードを再生するのに適しています。但し、78回転のレコードには向きません。カートリッジは時々、アームから外して、針先に蓄ったほこり等をラクダの毛のブラシで取り払って下さい。ブラシによる清掃は必ず、カートリッジの後方から前に向って行なって下さい。“図3”のように、針先を下にして、カートリッジを垂直に保ち、ブラシで払われたほこり、ちりが水平コイルやマグネットの間に入らないように注意して下さい。



針の手入れを充分に行ない、正しくお使いになれば、針の寿命はかなり長く持ちますが、ご使用条件により、1年又は2年毎にカートリッジの検査を受けられるようおすすめします。損傷や針磨耗の疑いがある場合は、オリジナルの箱にカートリッジを納め、お買上げになった販売店を通して当社にお送り下さい。当社はお預りしたカートリッジを英国 Decca 社に送って、精密な検査をした上、必要に応じ修理、調整、針交換等を実施し返送いたします。